

少数台数のリコール届出の公表について (平成28年6月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成28年6月は9件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：UDトラックス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月2日	3819	車名：ニッサンディーゼル 型式：FJ552LN 他 通称名：－	50	平成9年11月26日～ 平成20年9月23日
不具合の部位等	消防車（はしご車）の緩衝装置において、前軸トルクロッド取付ブラケットとフレーム下面の溶接が不適切なため、走行時の入力の変り返しで溶接部に亀裂が生じることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、トルクロッド取付ブラケットの溶接部が剥がれ走行不能になるおそれがある。			

2. 届出者：日野自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月9日	3823	車名：日野 型式：ADG-SH1EFXG 他 通称名：日野プロフィア	26	平成16年2月27日～ 平成21年6月8日
不具合の部位等	大型トラックの12段機械式自動変速機において、プラネタリキャリアの剛性が不足しているため、変速の変り返しによりピニオンシャフトが摩耗し、当該シャフトを固定しているスプリングピンが折損してシャフトが変速機本体ケースと干渉することがある。そのため、そのまま使用を続けると異音が発生し、最悪の場合、走行できなくなるおそれがある。			

※ 平成28年6月9日、公表済み

3. 三菱自動車工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月17日	3837	車名：三菱 型式：DBA-V93W 通称名：パジェロ	1	平成28年 5月27日～ 平成28年 5月27日
不具合の部位等	ガソリンエンジンのフューエルインジェクターにおいて、製造管理が不適切なため、当該インジェクター内に装着されているフィルターのメッシュ部に穴が開いているものがある。そのため、燃料配管内の異物がフューエルインジェクター内部に侵入すると、当該インジェクターが作動不良となり適切に燃料が供給されず、失火によりエンジン不調となるほか、最悪の場合、走行中にエンストに至るおそれがある。			

4. 日本フルハーフ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月23日	3846	車名：フルハーフ 型式：DFPTF341AN 改 他 通称名：－	33	平成 9年 1月14日～ 平成25年 5月13日
不具合の部位等	ホイールベアリングの補用品を誤って配送したため、誤品を装着した車両がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ベアリング（セパレーター）が磨耗して鉄粉が発生、ベアリンググリスが早期劣化し、最悪の場合、ベアリングが焼付き、火災又は脱輪するおそれがある。			

5. 株式会社KCM

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月24日	3831	車名：日立 型式：EDM-HS67 他 通称名：ZW40 他	8	平成24年 8月27日～ 平成27年 8月 6日
不具合の部位等	ショベル・ローダにおいて、ロータリ除雪装置を作動させる油圧ホースの選定が不適切なため、高圧部に耐圧性の低いホースが組み付けられた。そのため、除雪作業時に耐圧性能を超える油圧がかかりホースが破裂し、作動油が漏れ、最悪の場合、ロータリ除雪装置が作動しなくなるおそれがある。また、ステアリング及び駆動用を兼ねる作動油が漏れることで操舵不能もしくは走行不能となるおそれがある。			

6. いすゞ自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月30日	3842	車名：いすゞ 型式：LDG-RU8JHBJ 通称名：いすゞガーラ	55	平成22年 8月27日～ 平成23年10月21日
不具合の部位等	大型・中型バスの原動機において、ターボチャージャの可変ノズルを作動させるインターナルアームとシャフトの溶接部の強度が不足しているため、アクチュエータの駆動により当該溶接部がねじられ、可変ノズルの位置がずれることがある。そのため、吸入空気量が不足して、原動機の出力低下や回転が不安定となり、最悪の場合、走行中エンストし再始動できなくなるおそれがある。			

※ 平成28年6月30日、公表済み

7. メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月2日	外2339	車名：メルセデス・ベンツ 型式：DBA-172434 通称名：SLK200	11	平成27年 7月21日～ 平成27年 7月22日
不具合の部位等	<p>(1) 電子式イグニッションスイッチにおいて、電気回路の設計が不適切なため、メインバッテリーの電圧が低下した状態でエンジンを停止させると、当該スイッチに適切な電圧がかからないことがある。そのため、電動パーキングブレーキが作動しなくなるほか、オートマチックトランスミッションのレンジをパーキングの位置に変更することができなくなり、車両が動き出すおそれがある。</p> <p>(2) アイドリングストップ用のバックアップバッテリーにおいて、不具合を検出するプログラムが不適切なため、不具合が無いにもかかわらず不具合があるものと判断し、警告灯が点灯することがある。</p>			

8. 株式会社アトランティックカーズ 他

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月22日	外2345	車名：アストンマーティン 型式：不明 他 通称名：ヴァンキッシュ・クーペ 他	82	平成20年 1月21日～ 平成27年 9月23日
不具合の部位等	電気装置において、電気配線の配索設計が不適切なため、電気配線と座席のスライド機構が接触することがある。そのため、電気配線の被膜が損傷し、シート内部のアース線に過大な電気が流れ、アース線が焼損するおそれがある。			

9. メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
6月30日	外2356	車名：メルセデス・ベンツ 型式：DBA-172434 通称名：SLK200	6	平成28年 3月14日～ 平成28年 4月 6日
不具合の部位等	後輪のトーインを調整するタイロッドにおいて、取付けナットの製造が不適切なため、ねじ部が損傷しているものがある。そのため、適切な軸力が発生せず、そのままの状態で使用を続けると、走行振動等により取付けナットが緩み、後輪のトーインがずれ、走行安定性が損なわれるおそれがある。			

【参考】

●平成28年6月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	28 (+10)	22 (+9)	6 (+1)
輸入車	11 (-3)	8 (0)	3 (-3)
計	39 (+7)	30 (+9)	9 (-2)

※ () 内は、対前年同月比

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	17(-5)	12(+11)	29(+6)	1,983,793(-29,759)	26,163(+26,065)	2,009,956 (-3,694)
5	9(-10)	4(-11)	13(-21)	105,591(-4,258,536)	3,211(-63,982)	108,802(-4,322,518)
6	28(+10)	11(-3)	39(+7)	4,733,139(+4,072,121)	100,979(+79,887)	4,834,118(+4,152,008)
小計	54(-5)	27(-3)	81(-8)	6,822,523(-216,174)	130,353(+41,970)	6,952,876(-174,204)

※ () 内は、対前年比

(問い合わせ先)

国土交通省自動車局審査・リコール課
リコール監理室 和田・杉本
電話 03-5253-8111 (代表) (内線 42353・42355)